

## 新たな行政評価について

本年度、新たな行政評価の構築に向け、検討を進めてきたが、検討状況及び今後のスケジュールについて報告する。

### 1 目的

- (1) これまでの事務事業評価で行ってきた事業量（アウトプット）からの評価に加え、基本構想の各分野における中間アウトカム（具体的に目指すべき状態）に基づいた評価を行うことにより、基本構想に掲げる将来像の実現に向けた事業の改善を図る。
- (2) 課の単位で評価を行うことで、事業の改善につなげる。また、事業担当課以外による多角的な視点からの評価を行い、分野ごとの課題や方向性を共有することで、組織横断的な視点での改善につなげる。
- (3) 事業を実施する上での目的を明確にし、より分かりやすく効率的な評価の仕組みを構築することにより、各事業に取り組む職員の改善意欲の向上を図るとともに、質の高い行政サービスの創出につなげる。

### 2 検討経過

平成 29 年 6 月～12 月	評価スキームの検討 学識経験者からの意見聴取 試行実施
------------------	-----------------------------------

### 3 評価の概要

別紙 1 「新たな行政評価（案）」、別紙 2 「課別評価シート」及び別紙 3 「分野別評価シート」のとおり

### 4 今後のスケジュール（予定）

平成 30 年 2 月	議会報告（評価スキーム案）
30 年 4 月～	新たな行政評価の導入
30 年 11 月	議会報告（評価結果）

# 新たな行政評価(案)

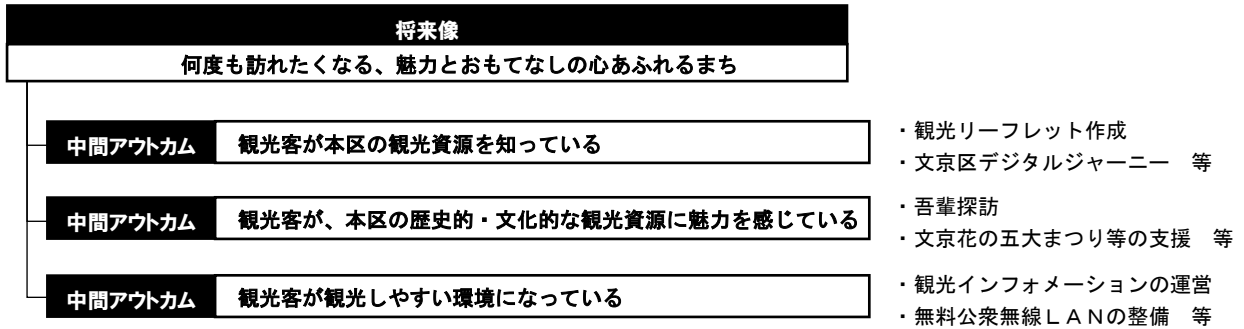
## (1) 目的

政策・施策・事業のアウトカムを捉えたうえで、組織横断的な仕組みの中で評価を行うことにより、効果的な事業改善を図る。

### 中間アウトカムの設定

基本構想における各分野の将来像を実現するための中間アウトカムを明らかにし、それを達成するための実施計画事業との関係を整理します。

【イメージ：「観光」分野】



- (2) 評価対象 実施計画の計画事業
- (3) 評価実施者 区（計画事業の所管課、分野別分科会）
- (4) 評価周期 毎年
- (5) 評価から事業改善までのフロー

### ① 課別評価

目的： 進行管理、課別評価  
 実施者： 計画事業の所管課  
 方法： i 前年度の事業の実施状況を確認することにより、進行管理を行う  
 ii 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性等について検討を行う

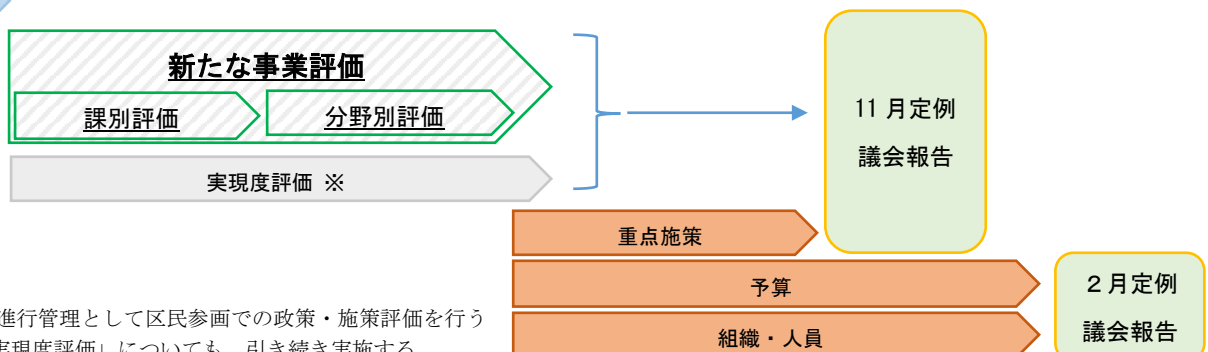
### ② 分野別評価

目的： 組織横断的な視点での評価  
 実施者： 分野別分科会  
 方法： 課別評価を集約し、中間アウトカムごとに組織横断的な視点で評価を行う

計画事業の所管課において、一連の評価結果に基づき、事業の実施方法の改善・見直し、重点施策の提案、予算・組織・人員要求等につなげる

### スケジュールのイメージ

事業実施



※基本構想の進行管理として区民参画での政策・施策評価を行う「基本構想実現度評価」についても、引き続き実施する。

(案)

平成29年度事業評価

# 課別評価シート

【アカデミー推進部 アカデミー推進課】

[観光]

このシートでは、基本構想の実現に向けて、各課が目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

**※本資料における所管による記載部分は架空の内容であり、実際の事業の状況とは異なります。**

# 【観光】

- 1 観光分野の中間アウトカムと計画事業 …… P5
- 2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価 … P6
- 3 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価 … P8
- 4 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価 … P10

# 1 観光分野の中間アウトカムと計画事業

<p>本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。 基本構想の【観光】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。</p>	
基本構想実施計画	
中項目	<b>3-6 観光</b>
将来像	<b>何度も訪れたいくなる、魅力とおもてなしの心あふれるまち</b>



## 2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価

【観光】の中間アウトカム(A)に紐づく基本構想実施計画事業（アカデミー推進課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

**中間アウトカム (A)** 観光客が本区の観光資源を知っている

### (1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	観光リーフレット作成		まちあるきを通じて様々な観光資源を知る観光客が増加する				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	「おさんぼくん」(多言語版を含む。)	部	108,000			108,000	324,000
	「おいしゅうございまっぷ」(多言語版を含む。)	部	64,000			64,000	192,000
事業費(千円)			1,000				
行政コスト(千円)			—				
所要人員			1.00				
進捗の課題 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px;"> <p><b>STEP 1</b> ・前年度の実績値、決算額、所要人員を入力 ※行政コストは新公会計情報を活用</p> </div>				

②	文京区デジタルジャーニー		VRアプリケーションをきっかけに、区内を周遊する観光客が増加する				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	VR静止画・動画対象施設	施設	16				16
	コンテンツへのアクセス数	回	2,000				10,000
事業費(千円)			1,000				
行政コスト(千円)			—				
所要人員			1.00				
進捗の課題 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有		進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px;"> <p><b>STEP 2</b> ・進捗の課題の有無を選択。「有」の場合のみ、その内容と改善策を記入</p> <p>アプリの公開が年明けにずれ込んだことにより、十分な周知期間がとれず、コンテンツへのアクセス数が伸びなかったため、今後は継続した周知を行うとともに、VR静止画・動画対象施設の協力も仰ぎ、認知度を高めていくことで、アクセス数を伸ばしていく。</p> </div>				

③	文化資源構想事業		近隣区も含めて、文化資源が集積した地域としての価値や新たな資源が観光客に再発見される				
※「3-4文化振興」の「中間アウトカム(A)」に実施状況が記載されます。							

## (2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (A) 観光客が本区の観光資源を知っている			
事業名 及び 事業目的	① 観光リーフレット作成 まちあるきを通じて様々な観光資源を知る観光客が増加する	方向性 の 類型	【改善・見直し】
課題及び 方向性	<p>中間アウトカム(A)「観光客が本区の観光資源を知っている」を達成するためには、様々な観光資源を面的に俯瞰することができる「観光リーフレット」の有効性を高めることが重要となる。 しかし、紙媒体の観光リーフレットは、頻繁な更新が難しく、各施設の催事など、タイムリーな情報を届けるための工夫が必要となる。 今後は、インターネットを活用した様々な媒体とのリンクなど、観光リーフレットを通じて多様な情報が取得できる仕組みを検討していく。</p>		
事業名 及び 事業目的	<div style="border: 2px solid green; border-radius: 50%; padding: 20px; text-align: center;"> <h3>STEP3</h3> <p>・中間アウトカム等の達成の観点から課題のある事業について、今後の方向性も含めて記入</p> </div>		
課題及び 方向性			

課題の発見及び今後の方向性を記載するに当たっては、以下の点を参考としてください。

### ＜検討の視点＞

課題の洗い出し	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化</li> <li>○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化</li> <li>○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方 (例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付</li> <li>・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮</li> <li>・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など</li> </ul>
見直す必要のある計画事業を抽出	
方向性の検討	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段</li> <li>○中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)</li> <li>○中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)</li> <li>○新規事業の必要性</li> <li>○投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【方向性の類型】</p> <p>拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの</p> <p>改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの</p> <p>縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの</p> </div>

### 3 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価

【観光】の中間アウトカム(B)に紐づく基本構想実施計画事業（アカデミー推進課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

**中間アウトカム (B)** 観光客が、本区の歴史的・文化的な観光資源に魅力を感じている

#### (1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名	事業目的					
①	吾輩探訪	近隣区との共通の観光資源について周知され、周遊が促進される					
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画	
主な取組	「ゆかりの地」マップ	部	30,000			30,000	90,000
	講座・講演会参加者	人	50			50	300
事業費(千円)			1,000				
行政コスト(千円)			—				
所要人員			1.00				
進捗の課題 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有		進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載		講座・講演会の参加者数が低調であった。周知が十分でなかったことが一因と考えられる。 今後は、好評であるマップの配布に合わせて講座・講演会のPRを行うなど、近隣区の協力も得ながら効果的な周知を図る。			

No.	事業名	事業目的		
②	サブカルチャーによる観光資源の魅力発信	新たな観光資源が認知され、若い世代の観光客が増加する		
		H29	H30	H31
主な取組		関係機関と協議の上、イベント内容を検討し、イラストパネル展示及びスタンプラリーを実施した。		
	事業費(千円)	1,000		
行政コスト(千円)		—		
所要人員		1.00		
進捗の課題 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載		

No.	事業名	事業目的					
③	文京花の五大まつり等の支援	区内地域に魅力を感じる観光客が増加する					
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画	
主な取組	実行委員会への補助	団体	7				7
	事業費(千円)		1,000				
行政コスト(千円)			—				
所要人員			1.00				
進捗の課題 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					



④	「かるたの街 文京」を発信！	日本の伝統文化への関心が高まり、若い世代の観光客が増加する
※「3-4文化振興」の「中間アウトカム(C)」に実施状況が記載されます。		

他課	「来て見て体験」文京の伝統工芸	伝統工芸品の魅力が認知され、ものづくりに関心のある観光客等が増加する
----	-----------------	------------------------------------

## (2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

### 中間アウトカム(B) 観光客が、本区の歴史的・文化的な観光資源に魅力を感じている

事業名及び事業目的	③ 文京花の五大まつり等の支援 区内地域に魅力を感じる観光客が増加する	方向性の類型	【改善・見直し】
課題及び方向性	中間アウトカム(B)「観光客が、本区の歴史的・文化的な観光資源に魅力を感じている」を達成するためには、高い集客力を持っている「文京花の五大まつり等」について、魅力を継続的に高めていくことがポイントとなる。 当該事業については、計画に掲げた各まつりの実行委員会への補助は滞りなく行っているものの、中間アウトカム達成の観点からは、まつりに新しい視点を取り入れていくことが必要である。 今後は、これまでまつりの運営に関わりの薄かった地域団体やNPO等、より多くの区民等の関わりを促しながら、まつりの新たな魅力を創出できるよう支援していく。		

事業名及び事業目的		方向性の類型	
課題及び方向性			

課題の発見及び今後の方向性を記載するに当たっては、以下の点を参考としてください。

#### ＜検討の視点＞

<b>課題の洗い出し</b>	○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化	(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化	・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)	・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など

見直す必要のある計画事業を抽出

<b>方向性の検討</b>	
○中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段	【方向性の類型】 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
○中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)	
○中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)	
○新規事業の必要性	
○投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分	

## 4 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価

【観光】の中間アウトカム(C)に紐づく基本構想実施計画事業（アカデミー推進課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

**中間アウトカム (C)**      **観光客が観光しやすい環境になっている**

### (1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名	事業目的				
①	観光インフォメーションの運営	区内を訪れる観光客のニーズに合った的確な情報が提供されている				
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	観光インフォメーションの相談件数	件	8,830			9,368
事業費(千円)		1,000				
行政コスト(千円)		—				
所要人員		1.00				
進捗の課題 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載				

No.	事業名	事業目的				
②	観光ガイド事業の充実	観光ガイドの案内により、観光資源の魅力を知る観光客が増加する				
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	ガイドツアー	回	85		85	255
	観光ガイド登録者	人	15			20
事業費(千円)		1,000				
行政コスト(千円)		—				
所要人員		1.00				
進捗の課題 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有		進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載 観光ガイド登録者から、高齢化に伴う辞退の申出が重なったことにより、計画数を下回った。 今後はミドルシニア以下の世代への呼びかけに注力し、計画数を確保していく。				

No.	事業名	事業目的				
③	「文の京」外国人おもてなし隊育成事業	外国人観光客が安心して区内の観光を楽しんでいる				
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	講座・交流会	回	5		5	15
事業費(千円)		1,000				
行政コスト(千円)		—				
所要人員		1.00				
進捗の課題 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載				

他課	無料公衆無線LANの整備	国内外からの観光客等が、区の観光情報等を容易に取得することができる
他課	文京ウェルカム商店街事業	文京区を訪れる外国人が店舗で温かく迎えられる
他課	自転車シェアリング事業実証実験	自転車シェアリングが新たな公共交通手段として定着する

## (2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

### 中間アウトカム(C) 観光客が観光しやすい環境になっている

事業名 及び 事業目的	① 観光インフォメーションの運営 区内を訪れる観光客のニーズに合った的確な情報が提供されている	方向性 の類型	【改善・見直し】
課題及び 方向性	<p>中間アウトカム(C)「観光客が観光しやすい環境になっている」を達成するためには、区の観光情報の総合窓口である「観光インフォメーション」を充実させることが特に重要となる。</p> <p>「観光インフォメーション」の相談件数は計画通り順調に進捗しているが、事業目的である「区内を訪れる観光客のニーズに合った的確な情報が提供されている」という点では、東京2020大会に向けて更なる増加が予想される外国人観光客へのきめ細かな対応が求められる。</p> <p>今後は、更なる多言語対応の強化を図るほか、シビックセンター展望ラウンジなどにおける外国人観光客に向けたアウトリーチ型のインフォメーションについても検討していく。</p>		
事業名 及び 事業目的		方向性 の類型	
課題及び 方向性			

課題の発見及び今後の方向性を記載するに当たっては、以下の点を参考としてください。

#### ＜検討の視点＞

<b>課題の洗い出し</b> ○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化 ○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化 ○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)	○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方 (例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付 ・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮 ・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など
---	--

見直す必要のある計画事業を抽出

<b>方向性の検討</b> ○中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段 ○中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用) ○中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合) ○新規事業の必要性 ○投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分	【方向性の類型】 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
--	---

## 評価実施のチェックリスト

以下の各項目は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認の上、それぞれの項にチェックを入れてください。

### 【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

### 【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分

(案)

平成29年度事業評価

# 分野別評価シート

【コミュニティ・産業・文化】

- [1 地域コミュニティ]
- [2 産業振興]
- [3 生涯学習]
- [4 文化振興]
- [5 スポーツ振興]
- [6 観光]
- [7 交流]

このシートでは、基本構想の「コミュニティ・産業・文化」について、各分野の中間アウトカムの達成に向け、各計画事業の所管課による「課別評価」の結果を集約し、中間アウトカム全体を俯瞰した組織横断的な視点からの評価を行います。

**※本資料における所管による記載部分は架空の内容であり、実際の事業の状況とは異なります。**

## 6 観光分野に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	3-6 観光
将来像	何度も訪れたくなる、魅力とおもてなしの心あふれるまち

このシートでは、観光分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

### 中間アウトカム (A) 観光客が本区の観光資源を知っている

事業名	事業目的	所管課
観光リーフレット作成	まちあるきを通じて様々な観光資源を知る観光客が増加する	アカデミー推進課

課別評価 のコメント	【改善・見直し】	STEP3の内容を転載
	<p>中間アウトカム(A)「観光客が本区の観光資源を知っている」を達成するためには、様々な観光資源を面的に俯瞰することができる「観光リーフレット」の有効性を高めることが重要となる。</p> <p>しかし、紙媒体の観光リーフレットは、頻繁な更新が難しく、各施設の催事など、タイムリーな情報を届けるための工夫が必要となる。</p> <p>今後は、インターネットを活用した様々な媒体とのリンクなど、観光リーフレットを通じて多様な情報が取得できる仕組みを検討していく。</p>	

文京区デジタルジャーニー	VRアプリケーションをきっかけに、区内を周遊する観光客が増加する	アカデミー推進課
観光ガイド事業の充実	観光ガイドの案内により、観光資源の魅力を知る観光客が増加する	アカデミー推進課
文化資源構想事業	近隣区も含めて、文化資源が集積した地域としての価値や新たな資源が観光客に再発見される	アカデミー推進課

### 分野別分科会における評価

中間アウトカム(A)「観光客が本区の観光資源を知っている」を達成するためには、既存の情報発信手段だけでなく、観光客のニーズに合った様々な媒体や技術を活用していく必要がある。

そのため、SNSやアプリの活用等、観光情報に触れる機会の増加につながる情報発信手段について、有効性を見極めながら検討していく。

また、ホームページや観光案内版等、既存の情報発信手段についても、多言語対応の拡充を図るなど、観光客のニーズを捉えた改善を進めるため、アカデミー推進課や広報課、道路課等の関係課で連携・調整を図っていく。

## STEP4

・分野別分科会で、各課の評価内容を踏まえ、組織横断的な視点から議論

中間アウトカム(B) 観光客が、本区の歴史的・文化的な観光資源に魅力を感じている		
事業名	事業目的	所管課
吾輩探訪	近隣区との共通の観光資源について周知され、周遊が促進される	アカデミー推進課
サブカルチャーによる観光資源の魅力発信	新たな観光資源が認知され、若い世代の観光客が増加する	アカデミー推進課
文京花の五大まつり等の支援	区内地域に魅力を感じる観光客が増加する	アカデミー推進課

課別評価 のコメント	【改善・見直し】
	<p>中間アウトカム(B)「観光客が、本区の歴史的・文化的な観光資源に魅力を感じている」を達成するためには、高い集客力を持っている「文京花の五大まつり等」について、魅力を継続的に高めていくことがポイントとなる。</p> <p>当該事業については、計画に掲げた各まつりの実行委員会への補助は滞りなく行っているものの、中間アウトカム達成の観点からは、まつりに新しい視点を取り入れていく必要がある。</p> <p>今後は、これまでまつりの運営に関わりの薄かった地域団体やNPO等、より多くの区民等の関わりを促しながら、まつりの新たな魅力を創出できるよう支援していく。</p>

「かるたの街 文京」を発信！	日本の伝統文化への関心が高まり、若い世代の観光客が増加する	アカデミー推進課
「来て見て体験」文京の伝統工芸	伝統工芸品の魅力が認知され、ものづくりに関心のある観光客等が増加する	経済課



分野別分科会における評価
<p>中間アウトカム(B)「観光客が、本区の歴史的・文化的な観光資源に魅力を感じている」を達成するためには、観光資源同士がつながりを持ち、区内の回遊性が高まるよう、その魅力を面的に発信していく必要がある。</p> <p>そのため、課別評価にある「文京花の五大まつり等」の魅力の向上にあたっては、会場周辺の商店街や伝統工芸との連携を深めることで、まつりの魅力のみならず、地域全体の魅力の向上を図っていく。</p>



**中間アウトカム(C) 観光客が観光しやすい環境になっている**

事業名	事業目的	所管課
観光インフォメーションの運営	区内を訪れる観光客のニーズに合った的確な情報が提供されている	アカデミー推進課

<b>課別評価 のコメント</b>	<b>【改善・見直し】</b>
	<p>中間アウトカム(C)「観光客が観光しやすい環境になっている」を達成するためには、区の観光情報の総合窓口である「観光インフォメーション」を充実させることが特に重要となる。</p> <p>「観光インフォメーション」の相談件数は計画通り順調に進捗しているが、事業目的である「区内を訪れる観光客のニーズに合った的確な情報が提供されている」という点では、東京2020大会に向けて更なる増加が予想される外国人観光客へのきめ細かな対応が求められる。</p> <p>今後は、更なる多言語対応の強化を図るほか、シビックセンター展望ラウンジなどにおける外国人観光客に向けたアウトリーチ型のインフォメーションについても検討していく。</p>

「文の京」外国人おもてなし隊育成事業	外国人観光客が安心して区内の観光を楽しんでいる	アカデミー推進課
無料公衆無線LANの整備	国内外からの観光客等が、区の観光情報等を容易に取得することができる	情報政策課
文京ウェルカム商店街事業	文京区を訪れる外国人が店舗で温かく迎えられる	経済課
自転車シェアリング事業実証実験	自転車シェアリングが新たな公共交通手段として定着する	管理課



**分野別分科会における評価**

中間アウトカム(C)「観光客が観光しやすい環境になっている」の達成にあたっては、東京2020大会の開催に向け、本区を訪れる外国人旅行者等が、安心して観光を楽しむことができる環境整備を進めていくことを、全庁的な重要課題として捉えることとし、今後の観光客の動向を的確に把握しながら、迅速な対応を図れるよう、各所管課の情報交換の機会を増やしていく。

また、自転車シェアリング事業の実証実験にあたっては、観光客の回遊性を高める手段としての有効性についても、十分な検証を加えていく。